



そこが知りたいSDGs②

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

企業訪問

株式会社 オオスミ

パートナーシップで 持続可能な社会へ貢献



私たちは地球のドクター
OSUMI
株式会社オオスミ

■会社概要 代表取締役 大角武志

従業員数 119名

事業内容 ①分析(水質、土壌、マイクロプラスチック等) ②測定(作業環境、煤煙・排ガス、悪臭・臭気、騒音・振動等) ③調査(環境アセスメント、大気汚染、土壌汚染、アスベスト、省エネ診断等) ④企画・コンサルティング(土壌汚染対策、PCB処理支援等) ⑤環境関連商品販売

〒246-0008 神奈川県横浜市瀬谷区五貫目町20番地17

☎045-924-1050 <https://www.o-smi.co.jp/>

『地球のドクター』を掲げる株式会社オオスミ。

環境調査・分析・コンサルティングを手がけて52年になる。

内閣府が選定した『SDGs未来都市』神奈川県・横浜の

フロントランナーとして、持続可能な社会の実現を目指す。



高橋正一・企画開発室室長

SDGsのネットワークが
プラスのスパイラルをもたらす

「事業のプラスアルファとして取り組むのではありません。SDGsに貢献する事業にしていかなければ、私たち自身が継続できないのです」(高橋正一・企画開発室室長)。

オオスミは、事業活動そのもので社会問題を解決する貢献こそ、SDGsの本質と捉えている。

代表的な業務である省エネ診断業務を例に見ていこう。

業務は次のように進む。(1)依頼、相談。(2)ヒアリング、現地調査による現状把握。(3)省エネ対策の立案。(4)エネルギー削減可能量の算定、対策提案。(5)省エネ対策の実施。

これらはSDGsの目標のうち、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「住み続けられるまちづくりを」、12「つくる責任つかう責任」、13「気候変動に具体的な対策を」。この4つへ直接的に貢献している。さらにセミナー実施や技術者の育成を通じて4「質の高い教育をみんなに」、海外への展開を通じて8「働きがいも経

済成長も」、再生可能エネルギーの供給業者や設備メーカーとの協働による17「パートナーシップで目標を達成しよう」にも関わってくる。結果的に脱炭素化を促進し、SDGsに貢献するサービスである。

同社が取引先とのパートナーシップをきっかけにSDGsへの取り組みを始めたのは2018年だが、その前から大角武志社長は環境活動へ積極的に参加していた。

「大角社長は環境問題を自分事としてとらえ、プライベートで横浜市・大岡川にカヌーを浮かべ、川のゴミを回収する活動を行ってきました。そこで環境NPOや地域活動とつながりができていったのです。そのほか、一般の人にも脱プラスチックなど環境問題を伝えていくことに大きな意味があると考え、環境雑誌を発行しています」(高橋室長)。

パートナーシップ。SDGsゴール「17」にも掲げられている。省エネルギー、廃棄物削減、気候変動……、1社、1事業所だけで取り組んでも効果は限定的。しかし複数のパートナーが目的を共有し得意分野で結びつけば、

大きな社会効果が実現できる。そのための指標と枠組みがSDGsだ。

「神奈川県はSDGsパートナー登録企業によるイベントも多く、会員同士がつながりやすくなっています。高い意識をもつ企業同士ですから情報交換にも積極的で、そこから派生する新たなビジネス展開を目指しています。」(高橋室長)。

また企業間以外でも、環境・社会活動などを行っているNPO・NGOとパートナーシップを結ぶことで新たな価値を創出する方法もある。これからSDGsへ取り組みたいという企業にとって、重要な選択肢となるはずだ。

**若者のSDGsへの注目度が高まる
企業経営に大きなメリットも**

若者たちの間でも、持続可能な社会への関心は確実に高まっている。このため、企業姿勢をわかりやすく伝える手段としてもSDGsはプラスだろう。

「大学で環境問題の特別講義を行う際、学生さんたちがSDGsにとっても興味を持っていると実感しました。就活でも規模やブランドではなく、ど

んな社会貢献をしているかを重視する学生が増えてきているそうです。』卒論のため、SDGsについて教えてくださう」という依頼もいただきました。さらに先日、小学6年生の子どもさんから『地球温暖化への取り組みを聞かせてください』という電話があり、私が会って説明しました(高橋室長)。

金融機関でも、事業性評価や融資におけるESGの重要度が急速に高まっています。

「最近の気候変動が原因と思われる激甚災害などからも、SDGs導入は、もう待たないしではないでしょうか。これからの時代、取り組みをしていない企業は置いて行かれてしまうのではないかと感じています。」(高橋室長)。

近年、問題となっているマイクロプラスチックの分析装置もいち早く導入し、NPOや各研究機関との協力体制を整えるオオスミ。次世代に持続可能な社会を残したい、地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけるという使命を実現するため、全力でSDGsに取り組んでいる。

SDGsへの貢献をお考えの経営者の皆さまへ



「一人ひとりの力は小さくても、集まれば大きな力になる」

日本ユネスコ協会連盟は、持続可能な開発目標 (SDGs) の各目標に向けた取り組みを行っています。NGOとの連携によるSDGsへの貢献やCSR活動の実施をお考えの皆さまは、ぜひ一度、ご相談ください。



公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟


公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 企画部
☎03-5424-1121
✉ kikaku@unesco.or.jp



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

朝日生命は日本ユネスコ協会連盟の活動に対し、1963年から維持会員として支援を続けています